

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 26 日

福島県知事

（市長）

殿

提出者

住 所 福島県伊達郡川俣町大字小島字町畑17-1

氏 名 高橋工業株式会社

代表取締役 高橋照伸

電話番号 024-566-4320



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	高橋工業株式会社
事業場の所在地	福島県伊達郡川俣町大字小島字町畑17-1
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
② 事業の規模	4億2800万
③ 従業員数	17人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	現場発生 → 運搬(委託) → 処分(中間処理、委託破砕)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto; text-align: center; padding: 2px;">取締役社長</div> <div style="width: 100%; text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto; text-align: center; padding: 2px;">常務取締役</div> <div style="width: 100%; text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto; text-align: center; padding: 2px;">土木作業所</div>	<p>産廃管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産廃処理計画作成、作業所の教育・管理 <p>・産廃分別・管理</p>

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート 殻・アスコン殻)	その他(廃プラスチック 類・木くず・汚泥)
	排 出 量	922.59 t	815.34 t
	(これまでに実施した取組) 現場から搬出する前に種別分類し、再生利用に努める		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート 殻・アスコン殻)	その他(廃プラスチック 類・木くず・汚泥)
	排 出 量	400 t	200 t
	(今後実施する予定の取組) 丁寧な分類で混合を防ぎ、再利用を推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック・木くずはそれぞれ発生現場にコンテナを設置し、分別に努めている
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え、作業員に分別に関する教育を徹底し、より良い分別方法の検討に努める。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート 殻・アスコン殻)	その他(廃プラスチック 類・木くず・汚泥)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート 殻・アスコン殻)	その他(廃プラスチック 類・木くず・汚泥)
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート 殻・アスコン殻)	その他(廃プラスチック 類・木くず・汚泥)
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート 殻・アスコン殻)	その他(廃プラスチック 類・木くず・汚泥)
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の理立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート 殻・アスコン殻)	その他(廃プラスチック 類・木くず・汚泥)
	自ら理立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート 殻・アスコン殻)	その他(廃プラスチック 類・木くず・汚泥)
	自ら理立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート 殻・アスコン殻)	その他(廃プラスチック 類・木くず・汚泥)
	全処理委託量	922.59 t	815.31 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	31.13 t
	再生利用業者への 処理委託量	922.59 t	784.21 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

		【目標】			
		産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・ 敷・アスコン敷)	その他(廃プラスチック類・ 木くず・汚泥)	
②計画	全処理委託量	400	t	200	t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t		t
	再生利用業者への 処理委託量	400	t	200	t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t		t
	(今後実施する予定の取組)				
※事務処理欄					

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとは1枚作成すること
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること
 - (1) 1欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること
 - (2) 2欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じて事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること
 - (3) 3欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む）を記入すること
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによる減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと